

Yamaha News

ヤマハニュース 1993 No.360
JUNE

ニューモデル◆新たな進化!

NEW SEROW 225W / '93 SEROW 225
SUPER JOG Z

NO.1を探せ◆110kg

豪快! パワフル! 巨漢社長

特
楽しいんだよな オフ!
ライフスタイル比較ユーザー編
TT250Rとセロー店頭売り別け編

TT250R & セロー 225
オフロードライフ
新提案



6号

イフ新提案

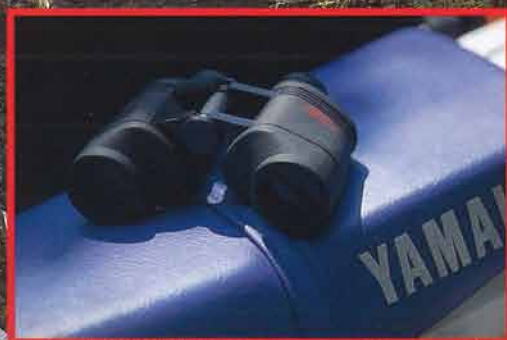
「より速く、強く」オープンエンデュロカテゴリーを先駆するTT250R。「より一歩山奥へ」マウンテントレールの世界を世に知らしめたセロー225。今号の特集は、4サイクルオン・オフモデルに的を絞り、そのセールスポイントへのヒントをさぐってみた。機能をしっかりメッセージ、そして、お客さまのバイクライフをコーディネートする積極アプローチで“楽しんだよな オフ”



OPEN ENDURO
TT250R



オフロードラ



MOUNTAIN TRAIL
SEROW 225W

初心者向けのバイクだなんて
誰が言い出したんだ！
まったく。

マウンテントレールという
新たなジャンルを確立した
セロー225も、発売以来早や
8年目を迎えようとしてい
る。この間、幅広いユーザ
ー層から支持を受けて、ロ
ングセラーモデルとして定
着したのはみなさんもよく



ご存じのとおりだ。しかし、その扱いやすさゆえ、セローの信条であるウッズライディングの魅力がやや曇りがちになる傾向もある。そこで生粋の“セロー乗り”を自負するふたりのお客さまに、乗って分かるセローの魅力を聞いてみた。

ユーザーが語るセロー225

SEROW 225



スタンディングハンドル



とにかく確実に前へ進むために、セローにはフロント1カ所、リヤに2カ所スタンディングハンドルがついている。セロー歴7年の五十嵐さんが選んだ魅力のナンバー1はコレ。「スタンディングハンドルの存在が、セローの特性すべてを語っている」と話す。目立ちはないが、セローの行動半径を広げるためになくてはならない装備のひとつだ。



「一度足場の悪いところで倒してみると分かるんですが、セローは本当に機能的につくられているんです。他のモデルじゃひとり引き起こせないような場所でも、無駄な力を入れずに立てられますからね。もちろん多少のコツとか経験も必要になってくるんですけど、それを学んでいくのもひとつの面白さですから……」

と話すのは、初期型のセローから最近'92年モデルに乗り換えた五十嵐さん。以前の愛車とは野越え山越え、約3万5000キロを

共に過ごしたという元気な32歳だ。今秋結婚する予定のフィアンセも、ツーリング先で知り合った「セロー乗り」だという。

五十嵐さんの言う引き起こしやすさは、セロー独自のスタンディングハンドルと軽量な車体によるものだ。セロー開発チームの実験担当氏によると「ふたりいればもつと条件が悪いところでも簡単に起こせるようになります」とのことだが、基本的にはひとりでも大抵の条件をクリアしてしまう。それについて五十嵐さんはこう話す。

「ひとりだけでも道を走る時って、いつも不安がいっぱいなわけです。先に進んで行き止まりだったら、果たしてリターンができるだろうかとか、ね。だけどセローならなんとか自分ひとりで対処できるという自信がありますから、そこから先にも進めるわけです。小さなことですが、これが大きいんですよ。行く気にさせるか、それとも戻ろうという気になっちゃうのか……。セローだからこそ進む気持ちになった道というのが、いままでもたくさんありますからね」

一方、4スト250ccロードモデルから一昨年セローに乗り換えたという平田厚さん(27)は、セローの魅力をこう話す。

「一番はやっぱり価格ですね。ただ単に安いというわけじゃなくて、安いクセにいろんなことができるという意味で。だからいまでも思いますよ、俺、いい買物したなって……」
以前乗っていたロードスポーツと比較して、購入価格が約3分の2、ランニングコストは半分以下だという。「それで遊び方は何倍もあるんですから、やっぱりお買い得モデルですよ」

ふたりの共通の意見を見つけるとすれば、それはセローが持つ懐の深さだろう。機能に裏付けられたセローの懐は、7年間乗り続けている五十嵐さんをして「まだ新たな発見がある」と言わせるほどだ。さらにこうも続ける。「セローが初心者や女性のバイクなんて、誰が言い出したんですかね？ 確かに女性でも扱いやすいバイクですけど、それがすべてのように言われているにはやっぱり抵抗を感じます」

これがセローに魅せられたライダーの偽りのない気持ちだろう。

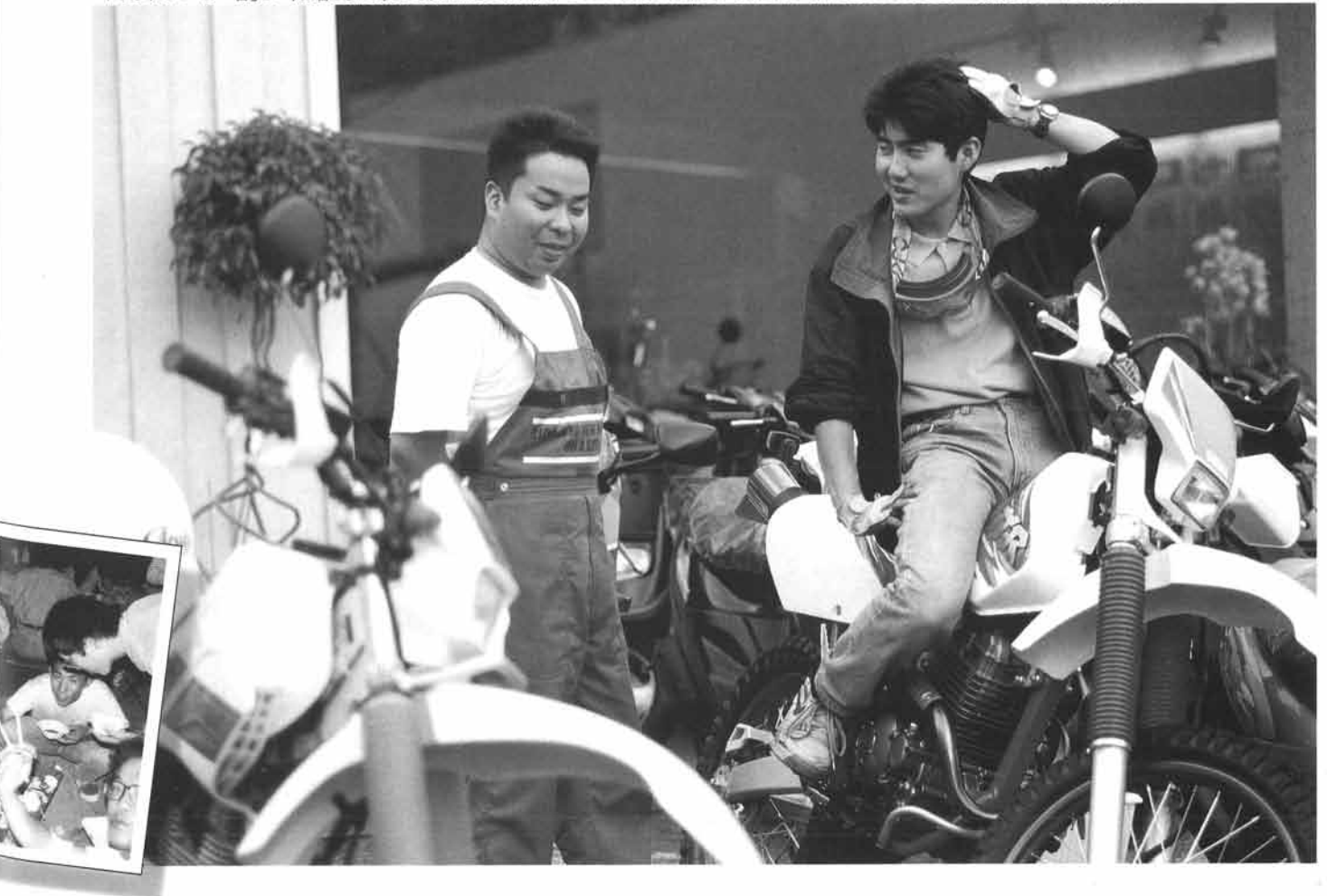
TT250R & SEROW225
店頭売り分け編



スポーツかカジュアルか 遊びのスタイルで提案!

YOU SHOPガマチ(蒲池良雄社長/広島市)

「やっぱりセローが一番」というお客さまに対しても、TT-Rをさりげなくアピールしたうえで、本当にお客さまに合うのはどちらがしっかり見定めていくことが大切



バイクライフをトータルに コーディネートする店が目標

オフワールドに恵まれた環境のもと、さまざまな遊びを提供しながら数多くのオフロードファンに親しまれているお店、「YOU SHOPガマチ」さん。

「バハ1000」に出場し、四国の「ツールド・ブルーアイランド」のSSER（四国スーパーエンデューロラリー）では選手としてだけでなくオフイシャルとしても加わっている蒲池社長をはじめ、スタッフ全員がオフ好きなことから広がって、お客さまも林道派、ラリー・エンデューロ派、モトクロス派、トライアル派、など実に多彩。

そのなかで、ニューモデルTT250Rは発売開始以来2週間ほどのうちに10台が成約と、好調な滑り出しを見せている。

「やはり、店のスタッフが本当にオフ好きで自分もいろいろ乗って遊んでますからね、セールストークに説得力があるし、TT-Rの良さがわかるような遊びも企画できる。それがうまくいったんでしょう」と蒲池社長。

「理想は、お客さんひとりひとりの乗り方、遊び方に合ったバイク選び、あるいはバイクに合った遊び、ウェア、用品の提供まで、トータルにコーディネートできる店なんです」

より速く、より扱いやすく スポーツできるTT-R

では、蒲池社長が考えるTT250Rとはどんなバイクなのだろう。

「すごくいいね。スポーツ性の高さが一番の魅力。特に、山を走れば弱点なんておおよそ見つかからない。ダートからガレ場、けもの道ま

でスイスイ走り抜けられる。

先日、ツーリングに行った時、見通しのいい林道があったんでちょっとタイムトライアルみたいにして遊んだんだけど、モトクロスやってる速いお客さんがDT200WRで思い切り走ったタイムと、あんまりオフ経験のない人がTT-Rで走ったタイムを比べたら、まったく同記録でね。みんなビックリ仰天。信じられなくて、2度やったけど同じなんですよ。

セールストークには、そういう話をこと細かにしてあげるんです。そのうえで、実際に山で乗せると効果バツグンでした」

実際、TT-R成約者のうち半分は、こうして乗り換えを決めた2ストローク車オーナーだそう。

「それと、取り回しは軽いしセルも付いているので、ブルーアイランドやSSERみたいなレースでも強いと思います。ボク自身、来年のバハカロシアンラリーあたりにTT-Rで出ようかと考えてるくらいですから」

カジュアルに自然と付き合う アウトドアグッズがセロー

「でも、ちょっと困ったのはセローのアピールをどうしようかっていうこと。同じ4ストロークのオフロード車で、しかもカタログデータは全然TT-Rのほうが上だし、扱いやすさも変わらないくらいでしょう。

単純に言えば、シート高と価格の差くらいしか思い浮かなくて。

でも、だからといって女の子用とかオフ初心者用なんて言い方はできないですね。もちろん、どれもセローのメリットのひとつではあるけど、二輪二足っていうか、野山を自

由自在に駆け回るセローの世界、イメージはすでに定着してるし、捨てるにはあまりに惜しいでしょう。第一、今までの大勢のセローユーザーに失礼だよな。

それで、TT-Rとセローのカタログを見比べてはいろいろ考えました」と、蒲池社長は話す。確かに、期待のニューモデルだからにTT-Rだけしか眼中になかった発売当初を過ぎると、どこの店でも同じような悩みにつき当たるとは違う。

「ふと気づいたのは、ライダーのファッションなんです。オフロード車に乗ってツーリングしてる人って、必ずゴツイオフロードブーツはいて、モトクロス用のヘルメットにゴーグルでしょう？」

だけどモトクロスグッズは、どうもセローのイメージじゃないんですね。もって肩の力を抜いて自然と遊びましようってバイクだから、ジーパンに編み上げのワークブーツ、フィッシングベスト着て首にバンダナ巻いてとか、BEPPAL風のカジュアルなカットコが似合うと思うんです。

そういうファッションから、本来のセローワールドにアプローチしていくのも悪くないんじゃないかな。ちょっとしたアウトドア教室やライディングスクールごっこみたいな遊びを加えたワンデイツーリングを企画してね。別の言い方をすると、セローはアウトドアグッズのひとつかな。釣りをしたり、バードウォッチングしたりするためのね。

その場合、バイクの性能にこだわるとセローの良さを失う。あくまで、山や溪流に近づくのにラクな機能、便利な機能が大切。例えばフロントやサイドのスタンディングハンドルとか、シート高の低さ、エンジンの静かさなどが生きてくるんです」



すぐれたエンジン・デューロ機能が
オフロードスピリッツを刺激する。

すべてがオープンエンデュ
ーロに勝つために設計され
たTT250R。高トラクショ
ンで扱いやすいエンジン特
性、高い運動性能を持つ強
靱な足まわり、そして徹底
した軽量化と、それらすべ
てが自然と対峙するスポー



ツ、オープンエンデューロを見据えたものだ。しかし実際の使い途で
は、やはりツーリングユースが多数となるのも事実。ここでは幅広い
オフフィールドに応えるTT-Rを3人のお客さまに語ってもらった。

ユーザーが語るTT250R

TT250R



正立式フロントフォーク

エンデューロ機能がツーリングユースでも威力を発揮するTT250R。その最も体感しやすい部分がこの正立式フロントフォークではないだろうか。ギャップに対するダイレクト感が特長である倒立式フォークは、これがハッキリとハンドリングに表れるため疲労感が大きい。対して長時間の走行に適した正立式は、磯貝さんの認識どおり疲れにくい特性がある。



「予想以上にいいですね」と、納車されたばかりのTTにまたがり、満足そうに笑う隅田久雄さん(33)。TT250Rの発売を待っていたばかりに「4年間も(バイクに)乗りそびれてしまった」という、根っからのヤマハトレールファンである。「私たちの年代は、やっぱりトレールというヤマハなんですよね。だから250ccの4ストロークが出ると聞いて、写真を見ただけで予約してしまっただけです」



能を全部使い切ることができるか問われてるみたいですよ」
千葉県の磯貝秀樹さん(30)も、隅田さんと同様「トレールといえばヤマハ」のクチだ。「DT200Rからの乗り換えなんですけど、僕はどちらかというと2スト派なんですよ。それが何でTTなのかというと、やはりヤマハのニューモデルだからと答えるしかありません。ただ2スト派の僕が乗ってみても軽いし、エンジンも伸びるんで、まったくマイナス要素はありません」

磯貝さんも週末を林道で過ごすツーリング派。すでに慣らしも兼ねて清澄山へツーリングに出かけたが、「長時間走ると、なぜこの時代に正立のフロントフォークを選んだのかよく分かります」とのことだった。

一方、まだ納車はされていないがTTを予約中の鈴木健吾さん(20)は、FZR250Rからの乗り換え。昨春秋、オフロードYRSに参加して「泥の道を選んだ」ライダーだ。「スクールはレンタルのセローで参加したんです。最初の1台もセローにしようと思ってたんです。そしたら店の人が「せっかく身長(179cm)があるんだから、TTにしたら?」って言うてくれて……。今日(試乗会)セローとTTの両方乗り比べてみたんですけど、やっぱりTTにして良かったと思います」

隅田さんのバイクライフは、昔も今もツーリングオンリーだ。以前は6〜7人の仲間と一緒に関東周辺の林道を走り、温泉に泊まって飲み明かすという旅を月に1度ほど行っていた。5月末には、当時の仲間を誘って中禅寺湖へのツーリングを予定しているそうだ。「久し振りに乗って感じたことは、さすがいまのバイクはサスペンションが違っていて、ゴツゴツした感じが全然ない。反対に乗り手の方がその機

ビュアオープンエンデューロをキーワードに開発されたTT250Rは、すぐれたエンデューロ機能にすぐれたツーリング機能であることを実証したモデル。あくまでもエンデューロを見据えた設計ながら、そこにお客さまはツーリングユースでの機能を見抜いている。「ツーリングが主な使用だけど、速くてカッコいい方がいいに決まってる」という隅田さんの言葉に、すべてがあらわさる。

TT250R & SEROW225 店頭売り分け編



カタログイメージを大切に 快適エリアの違いでアピール!

YSP名古屋北(大口厚社長/愛知県西春井郡)

印象はTT-Rが有利でも 離れないセローユーザー

「5月の連休の時、松本の方へみんなでツーリングに行ったんですよ。そしたら、まあセローの数が多いこと多いこと、出合うバイクの半分はセローじゃないかと思っただけで、改めて、人気の高さを実感させられました」と話すのは『YSP名古屋北』さんの大口社長。その時同行したスタッフの森さんも口をそろえて強調する。

「お客さんたちの間でもね、セローっていうとある程度定着したイメージがあるんですよ。例えばカタログ写真に出てくるような森の中のシーンとか、女の子が北海道のラベンダー畑の道を走る姿とか……」

「そうやってでき上がった世界を持つバイクは数少ないでしょう。大切にしていかなきゃいけないですよ」

しかし、素晴らしいながら、同じ4ストロークのオフロードマシンであるTT250Rが登場以来、お客さまの目はどうしてもそちらにとられがちである。

「どっちもセル装備だし、乗りやすさ、扱いやすさはいい勝負。速さとかカッコよさの面でソウル魅力を持つてる分だけ、TT-Rが上に見られちゃう傾向はありますね」

ただ、ウチの場合、TT-Rを買ったお客さんのなかで、セローからの乗り換えはまだひとりもないんですよ。

つまり、セローのお客さんはTT-Rと違う良さを知ってて、それに満足してるんですよ」

カタログやVTRの「絵」で 得意分野をイメージさせる

では、TT250Rとセロー225、この似て非なる特性を『YSP名古屋北』さんの場合、どういう方法で売り分けているのだろうか。

日頃、店頭で接客にあたり、自らもオフロード大好き人間という森さんは、

「お客さんの指名がある時なら、例えば相当身長が低くてTT-Rはムリとか、よほどのことでない限りそのまま受けてます」

でも、アドバイスを求められたら、ボクはその人の使い方をまず聞くんです。そして、一番それが快適にやれるものをすすめてます」基本的に、Aというバイクにできて、Bというバイクでやれないことはない。ただ、やりやすいかやりにくいかな、快適かそうでないかの違いが問題なのだ。

レースでもツーリングでも街乗りでも、セ





ツーリングルートのアドバイスから、オプションパーツの相談など、あらゆる面で快適なバイクライフをサポート。森さん(左)は良き相談役だ

ローは見事にやってのけるが、レースならTTRのほうがよりラクにより速く走ることができる。

しかし、街乗りならどうか？ 高速道路は？ 林道ツーリングでは？

こんなふうに、お客さまが使いたいと思うことを聞き出し、それに対して、最適なほうをすすめるというわけだ。

「その時、カタログやプロモーションVTRがすごく役に立つんです。なにしろ、それぞれのバイクが持つ一番いい場面を絵で見せられるでしょ。特に、TTRのVTRは最高にいいね。いつも店内で流しっ放しにしてあるんですが、それを見ただけで買ってくれたお客さんもいるくらい。セローにもこういうVTRが欲しいね」

長距離を駆け巡るTTR 滞在地を知り尽くすセロー

次に、その快適性の違いでTTRとセローを表現すると、森さんの意見はこうだ。

「TTRは、ロングツアラーとして旅の途中のさまざまな道を楽しむバイク。セローは街乗りや旅の目的地でじっくり楽しむ、ショートレンジが得意な1台」

最近、TTRを購入した森岡昭人さんは、



森さんのすすめでDTから乗り換えたひとり。

高速道路から林道、ダート道まで、どんなところもまったく苦にせず走れて、燃費がよく(タンデムで38km/ℓ走った) デジタルメーター、セル付きという点がキメ手になった。「車体のコンパクトさで街乗りや林道でもつと扱いやすくて、ボクの身長(165cm)に合うセローも魅力だったんですが……。それで、彼女(婚約中)用ということでセローも一緒に買ったんですよ」と笑う。

こうしたお客さまたちのために、森さんはセロー、TTRだけのツーリングを企画、今年秋にも実施したいと意欲的だ。

さらに大口社長も、日頃熱を入れている写真の趣味を生かし、セローやTTRを使ったフォトツーリングができないかと企画中。

一方、名古屋周辺はクロスドコースを使ったエンデューロ、スプリントレースが盛んなところ。TTRのもうひとつの大きなセールスポイントになるはずだが、

「レースのために買うってお客さんはまだないですね。2ストローク車と比べてどうなのか、様子を見てるところでしょう。」

実際、出て楽しめればいいって人はセローでもたくさん出場でますし、ロングツーリングもレースも得意ってわかれば必ず増えてくると思いますよ」

No.1を探せ

渡辺誠社長 (YOU SHOPヨキ／北海道札幌市)



広は上着やシャツが既成服じゃ間に合わず、オーダーでも生地が1.5人分。バイクに乗れば、オフロードをちよっとハドに攻めたりするとフレームが曲がるわ、サスは抜けるわ……。

「ちっともいいことないし、最近ダイエットしてんだけどなあ、ガハハハ」と開口一番笑いたバズ渡辺社長は、それでも身長175cm、ウエスト106cm、胸囲118cmの体重110kg(自己申告)。

「私、食べるのが好きでね、ツーリングとかイベントっていうと必ずウマイ物めあてだし、販売目標達成記念だの何だの、いろいろ理由つけちゃ食べにくいんだよね。ダイエット方法？ 回数は減らないけど、量を少なめにしてるよ」もつとも、ある証言によれば3人前を2人前にしてるんだとか……。

そのぶん、お酒は一滴も飲まないそうだが、「好物は肉！ 野菜はキライ。うーん、コレじゃ太るわなあ」

しかし、タタの太ったオジサンだと思ったら大間違い。厚く盛り上がった肩と太い首、丸太のような腕や太腿など、まるでラグビー選手のごとき偉丈夫である。

それもそのはず、かつてはエキスパートジュニア3位まで上りつめたモトクロスライダーであり、今も「バイクショップは体を張ってやるもの」という信念のもと、バイクやマシンジェット、スノーモビルで毎週お客さまと一緒に駆け回っているから、絶えずトレーニングしているようなものなのだ。

だから、PW50くらいなら片手でこのとおり、小脇に抱えて納車(はしないが)も朝メシ前。

そんなパワーと行動力、そして柔和な笑顔とひょうきんさがいっぱい詰まった渡辺社長のゴツイ体こそ、お店のシンボルであり看板なのだ。

豪快！ パワフル！ 巨漢社長

「この点にかけてはウチこそNo.1だ」というお店を募集しています。アピールポイントと店名、住所、電話番号を明記し、下記までご郵送ください。
宛て先：ヤマハ発動機株式会社広報室 伝言「ヤマハニュース」No.1を探せ係 〒438 静岡県磐田市新貝2500



ヤマハ サマーフェスタ
7月25日(土)・26日(日)

今年もやります!!
★一晩限り飲み放題! 喰い放題!

西瓜
ジュース
お菓子
果汁

成吉思汗
お菓子
果汁

期間中ご成約の方にもれなく(アウトドアグッズ)プレゼント!

バイク用品大バーゲン
※在庫限り
ほんの一割
●ヘルメット 30~40%OFF
●フルゾン 20~50%OFF

よりよい仲間を大きく広げる
「人とバイクの友好生活'93」に
ご協力ください!

㈱日本自動車工業会では、バイクの安全で快適な利用を促進し、バイクならではのすばらしい世界をもっと多くの人々に理解していただくよう、毎年「人とバイクの友好生活」キャンペーンを展開してきました。

今年も、バイクでひろがるいい仲間

をキャッチフレーズに、ビギナーからベテランライダー、そしてショップ、メーカーに至るまで、よりよい関係を築いていこうとさまざまな活動を行います。まずひとつは、これからバイクに乗ろうというヤングに対し、原付免許取得に

関する知識、安全運転への正しい理解を深めてもらうこと。そのために、人気漫画家・蛭子能収さんのイラストを使った雑誌広告でアピールしていきます。店頭での話題づくり、アドバイスにご利用ください。

また、YESSをはじめ各二輪メーカーのユーザークラブが協力して、鈴鹿8時間耐久レースのチケット2000席分を用意。クラブの会員メリットとして幹旋することで、仲間の輪を広げます。

さらに昨年同様、バイクを通じて広がったふれあいのシーンを写真にして発表し合う「ほのほのバイクライフ」フォトコンテストや、バネラーと一緒にバイクについて語り合う「バイクフォーラム'93」も開催。

ぜひお客さまへ広くご案内ください。

■鈴鹿8時間耐久レース観戦券

内容/グランドスタンド第1コーナー寄りのS2席(7月22日・25日通し)

入場券と24日、25日の指定席券をセット)

料金/15000円(オリジナルグッズ付き)

問合わせ/各ヤマハ販売会社のYESS担当者

■第3回ほのほのバイクライフフォトコンテスト

テーマ/バイクでひろがるいい仲間

作品/カラーまたはモノクロプリントの未発表自作品。サービスサイズから四切までのサイズで、1枚写真裏面に題名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のこと

締切/6月15日(当日消印有効)

発表/8月発行の二輪雑誌など。

展示/8月19日「バイクフォーラム'93」会場ロビーほか

賞典/特選(1点・30万円 準特選(3点・10万円 入選(5点・トランシーバー2台 佳作(20点・双眼鏡

問合せ、申込み/同コンテスト事務局 〒1105 東京都港区芝郵便局留

☎03 344359564

■バイクフォーラム'93

日時/8月19日 18時~20時30分

会場/東京・有楽町「よみうりホール」

司会/清水国明さん

問合せ/同事務局

☎03 344359564

※二輪雑誌などの広告でも告知していますのでご覧ください。

見る・見られるいい仲間

日本自動車工業会

あのかたと、
ウマがあったら
シャッターチャンス。



ひととひとをつなぐの力、バイクの魅力で、家族、友人、サークル、家族、兄弟など、バイクを軸に、ライダーの輪がもっと大きくなることを目指しています。そこで、バイクと一緒に仲間をひろげる「ほのほのバイクライフ」写真大募集。目玉のウマは、シャッターチャンス/ライダー同士ウマがあったら、シャッターチャンス/写真の例は問いません。か、いい写真が送って来たら、賞品のあつたところ、おまかせのシーンを写真にして送ってください。お待ちしています。

■賞品/特選(1点)現金30万円/準特選(3点)現金10万円/入選(5点)トランシーバー2台/佳作(20点)双眼鏡
■応募資格/日本国籍の18歳以上の個人。法人、団体、企業、学校、学生、外国人、海外在住の方は、日本国内に住所をもち、日本国内に在住していること。また、応募資格に該当しない場合は、応募資格を明記していただくこと。
■応募期間/6月15日(当日消印有効)まで。ただし、6月15日(当日消印有効)以降に発表される場合は、発表後1週間以内(発表後1週間以内)に発表されること。
■応募方法/応募用紙(別紙)に、写真の枚数、題名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し、封筒に入れていただくこと。また、写真の裏面に、題名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入すること。
■応募先/〒1105 東京都港区芝郵便局留

第3回 ほのほのバイクライフフォトコンテスト
「バイクでひろがるいい仲間」写真大募集

Be Riding Friends!
バイクでひろがるいい仲間

問合せ/同事務局
☎03 344359564

オフロードレースの基礎を学んで もっと上手にもっと楽しく走ろう！ トライアル&ジュニアMXスクール

最近、エンデューロレースや林道ツーリングなどを通じて、オフロードバイクの楽しさにめざましたお客さまが多くなっています。

しかし、本格的なモトクロスやトライアルの競技になると、参加しづらいという声もよく聞きます。

それは、基本から正しいライディングを教わる場が少ないことが原因のひとつ。上手に走れる自信さえ持てれば、レースをやってみよう、続けていこうとする人ももっと増えてくるはずですよ。

ヤマハでは、オフロードレース人口を広げることでさらにモーターサイクルの魅力を実感していきたく、ジュニアモトクロススクール「トライアルライディングスクール」を全国展開します。

インストラクターには、MXが藤秀信氏、庄司覚氏といったベテランに加え、田淵武、鈴木健二らヤマハ契約ライダーをはじめとする国際A級ライダーがいたり、TRは国際A、B級ライダーと、デモンストレーターとしてバスカル・クトゥワリも参加。一流のテクニクを手把手に見て、走って、教わって、と充実した講習内容がポイントです。YZ80、TY250Zのお客さまにぜひご案内ください。

■ヤマハジュニアモトクロススクール
対象/ジュニアクラス・15歳未満
初心者クラス・15歳〜20歳

内容/基本走行(ブレーキング、コーナリング、ジャンプなど) 座学(トレーニング法、栄養学など) 応用走行(模範走行、模擬レースなど)
料金/7000円(受講料、保険料など)

YZ80レンタルは3000円(先着10名)

日程/詳しくは各販売会社におたずねください。

■ヤマハトライアルライディングスクール
対象/トライアル車を所有する方
内容/基本走行(スタンディング、8の字、ステアケースなど) 応用走行(走行、模範走行など)

料金/3000円(受講料、保険料など)

目に見えない安心感や信頼を メンテナンスするツールは 「お客さま第一」の心です！

眩しい陽ざしが夏の到来を思わせる昨今、バイクに乗るのが本当に気持ちいい季節になりました。

お客さまの乗車機会がグンと増えて、その分、点検や修理などの技術サービスも大忙しといったところでしよう。

しかし、忙しさにかまけてしまうと、思いもかけないミスが出たり、つい対応がおろそかになってしまいがちです。気を引き締めて、丁寧な仕事を心がけましょう。

また、納車の時にきちんと洗車しグリaspアップを済ませておくなど、お客さまへの思いやりも忘れてほしくないところ。技術サービスはお客さまの愛車をメンテナンスしますが、そこに込められたサ



日程/6月6日(関東)、6月20日(中国)。以後は各販売会社におたずねください。

SERVICE



ービスマンの優しさや親切は、お店に対する安心感、信頼をメンテナンスします。もう1度、自分自身で「お客さま第一」の心を確かめてみてください。

■新刊サービスマニュアル

商品名	注文No	価格
XJR400	4HM-28197-00	4000円
VMAX(過補)	3UF-28197-05	600円

■YTSヤマハ二輪車整備士講習会

月	北海道 ヤマハ	東北 ヤマハ	関東 ヤマハ	中部 ヤマハ	関西 ヤマハ	中国 ヤマハ	四国 ヤマハ	九州 ヤマハ
6月		B 2M 1-3	B 2M 15-17 2M 22-24	B 2M 9-11	B 2M 23-25	B 3-5 岡山 B 23-25 佐々木M/T	B 16-18 高松	B 4M 2-4
7月		2M 1-3 2M 5-7 B 13-15	4M 13-15 2M 20-22 2M 27-29	B 4M 14-16	B 13-15 岡山 B 13-15 広島	B 13-15		2M 7-9

B/ベインック 2M/2サイクルマスター 4M/4サイクルマスター D/ドクター ※都合により、開催変更および中止となる場合があります。また、ベインックは拠点開催ですので、日程のないものは各営業所へお問合せください。



スクーター需要の最盛期 店頭を元気に盛り上げる 各種ツールが勢ぞろい!

夏は、長期休暇を利用した原付免許取得者が増えるとともに、ポータスやアルバイトなどでフトコロもあつたかな時期。スクーターの拡販には絶好のタイミングとなるだけに、積極的な攻めのセールスキャンペーンを展開しましょう。

新規需要の開拓は、免許取得の段階からサポートすることがカギ。春のキャンペーン成果を洗い直し、再度VTR「じっかりノろうぜ」や「50ccマガジン」といったツールをより有効に活用したり、免許教室を開催するなど工夫してみるの

も方法のひとつです。

ヤマハではこれに合わせ、フリーダイヤルによる「原付免許受験案内サービス」を7月1日からスタートさせます。ぜひご利用ください。

また、代替え促進には、春の点検キャンペーンをもう1歩徹底させ、さらに店頭を賑やかにイキイキと盛り上げる「ラッキーサマーキャンペーン」を展開してお店をバックアップします。

点検来店を誘うプレミアムやこ成約プレゼントのほか、キャンペーンのアプリ

レセントのほか、キャンペーンのアプリ



仙台市郊外の、豊かな緑に囲まれに包まれる夏のSUGOで、のんびり休日を楽しんでみませんか。

ホテル、またはキャンプの宿泊と、ランド内の施設をいろいろ利用できるプレイチケットがセットになった「サマーパック」なら、人数やメンバー、日程に合わせて自由に設定できます。

もちろん、遠方の方には電車やバスの手配や、パーティなどのセッティングもご相談に応じますので、お店のスタッフやお客さまとグループで、あるいはご家族で、ぜひご利用ください。

また、お子さま向けの好評テニスパック

オトナも子どもも待ち遠しい 夏休みは自然と遊べ! SUGOのパックツアー

ク「わんぱく・ジュニアサマースクール」も予約受付中です。

ジュニアは、プロテニスコーチによるレッスンなど本格的な内容と、楽しいパーティ、わんぱくは、テニスのほかにプールやフィッシング、キャンプファイヤーなど盛りだくさんの内容が特徴。お子さまたちに、有意義な休日を提供していただきます。

■サマーパック
内容/2泊4食+プレイチケット
料金/宿泊内容により異なります
〔ホテル1泊+キャンプ1泊〕
おとな・23000円

子ども・16000円
〔ホテル2泊〕
おとな・36000円
子ども・23000円
〔キャンプ2泊〕
おとな・11000円
子ども・10000円

■ジュニアテニスサマースクール
日程/7月26日~29日 3泊4日
対象/中学1年生~高校3年生
料金/61000円

■わんぱくアドベンチャーテニスサマースクール
日程/7月26日~29日 3泊4日
対象/小学3年生~6年生
小学3年生~6年生
料金/48000円

※詳しくは、SUGO東京(営) ☎03-3575-4771か仙台(営) ☎022-483-4711までおたずねください。



ルに欠かせないDM、チラシ、ポスターなど各種ツールも豊富に用意しましたので、必要に応じてご利用ください。詳しくは、各拠点担当セールスマスまで。

ご来店プレゼント/リゾートごろ寝バッグ(左)、ミニピクニックコンボ(右)

ラッキーサマーフェアツール/ハガキDM(①)、封書DM(②)、折り込みチラシ、店頭ポスター、のぼり、静電ステッカー、風船、マルチディスプレイ、ドアノブハンガーほか各種



6月のヤマハ提供番組ガイド

■93世界グランプリロードレース

W・レイニーのV4、原田哲也GPフル参戦、F・スペンサーの復活など、今年もヤマハチームは話題、見どころがいっぱい。その熱戦の模様を、専門家の的確な解説を混じえながら全戦にわたって中継します。お楽しみに！

TXN系全国7局ネット・毎週日曜日
24時30分～25時25分（静岡のみ月曜日24時55分～25時50分）放映。

■驚き・ももの木・20世紀

20世紀の、誰もが知っている歴史、事象、人物などの意外な事実や秘話、エピソードを、ドキュメンタリータッチのV

TRで紹介します。

案内役はマルチタレントの三宅裕司と黒木瞳。近未来的なスタジオに、森毅氏（京大名誉教授）ほか多彩なゲストを招き、試着会のような形で進行します。知的興味をそそる物語の数々に、ぜひご期待ください。

放映・テレビ朝日系19局ネット、毎週金曜日21時～21時54分。

■ヤマハONAN DOFF

陸と海、2つの大きなフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数かずを、ご紹介する番組です。巧みなカメラワークを駆使した美しい

自然派ライダーの必携グッズ

山の緑が日ごとに濃く深みを増し、谷のせせらぎや鳥の声か涼感を誘う初夏。林道へ自然と遊びに出かけませんか？今回は、そんなツーリングに便利なグッズをご紹介します。



●カンクーラー2(No.374025/1300円)

山深い林道には、コーラの自動販売機なんてありません。溪流もうまく見つからない時を考えて、飲み物くらい持っていくほうがカシコイ選択。このクーラーなら、350ccまでの缶2本を冷えたままコンパクトに収納、持ち運びできます。16×9×18cm。（空き缶は持ち帰りましょう）

●ラウンド双眼鏡(No.374014/1000円)

3.6×6×7.5cm、65gの軽量コンパクトな双眼鏡。ウエストバッグに常備して山の眺望やバードウォッチングの楽しさを知るには最適です。

●バンダナ・プレーン(No.374047/600円)

いわずと知れた万能クロス。鮮やかなマゼンタがカラフルなオフロードウェアによく合います。

映像と選び抜いたBGMで、話題性に富んだテーマをスポーツマイナリティたっぷりお届けします。

▼6月5日（マリン編）

「由良拓也さんのマリンライフ」

▼6月12日（バイク編）

「三宅島・アドベンチャーツーリング」

▼6月19日（マリン編）

「ヨットレースを楽しむ仲間たち」

▼6月26日（バイク編）

「バイクフィッシング・服部久志さん」

※一部内容が変更となる場合があります。
※一部地域では放送日が異なります。

テレビ北海道/テレビ東京/テレビ大阪/テレビ愛知/テレビせとうち/テレビエクスプレス九州/毎週土曜日18時30分から18時45分/静岡放送/毎週日曜日10時45分から11時/東北放送/毎週木曜日24時40分から24時55分/テレビ新広島/毎週木曜日24時40分から24時55分

■オリジナルコンサート

はるかなる大草原とゴビ砂漠をセローで自由に駆け巡れ！
『モンゴル・バイクトレッキングツアー』

羊を追う遊牧民たちが悠々と旅するモンゴル大草原やゴビ砂漠を、セローで思いっきり走ってみませんか？

『モンゴル・バイクトレッキングツアー』と題されたこのツーリングは、草原や砂漠の道を自由に選択しながら走る、約1500kmに及ぶ9日間の旅。

現地で使用するセローのレンタル料、金やメンテナンス、宿泊、伴走車など、ほとんどの内容がパッケージされています。面倒な手続きも必要ありません。今年の夏は、人とおちよつと違った旅をしてみたいと考えているお客さまにピッタリのプランです。

■モンゴル・バイクトレッキングツアー
出発日/6月20日、27日、7月4日、18日、8月1日、8日、22日の各日

私たちの創った世界

世界各国で精神的に活動を続けている財ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」。そこで育った世界の子どもたちによる自作自演のコンサート模様をお届けします。日曜の朝をすがすがしく彩る純粋な音楽の響きをゆつくりとお楽しみください。テレビ朝日系全国18局ネット・放送日/毎週日曜日。放送時間/7時30分から8時。ほっぶん王国（ラジオ）

ミュージックスタジアム

10代の音楽フリークを対象としたアマチュアリズムたっぶりのラジオ番組です。月曜から木曜まで、曜日ごとに切り口を変えた楽しい企画で、アマチュアバンドを応援します。ニッポン放送他16局ネット。



日程/9日間（ツーリング5～6日間）
料金/42万8000円
問合せ/株式会社インターナショナル
☎03-5952-0910

ちょっとだけ、カスタム
 けれどコアのSRV250。その基本設計はそのままに、
 最新のスペシャルパーツをボルトオンしたSRV250Sがいよいよ登場。
 軽やかなスラッシュバック、フレームのダブルハーネス、
 塗り分けボディ、タンク、フレームのダブルハーネス、
 塗り分けボディ、タンク、フレームのダブルハーネス、
 サブタンク一体式リアクション、専用カスタムエンジンなど、
 クロームメッキ専用チェーン、専用カスタムマウントに改良も追加された
 スタープマウント、カスタムマウントに改良も追加された
 SRV250S & SRV250。個性で遊ぶ2つのラインナップ。



TRADITIONAL V-TWIN
SRV250S
 *MODEL TYPE 4-VALVE ENGINE 110-cc AIR-COOLED OHV V-TWIN
 *DISPLACEMENT 1100 cc *MAX. POWER 27.0 kW (36.8 HP)
 *MAX. TORQUE 23.0 Nm (16.8 kg-m) *TRANSMISSION 5 SPEED RETURN
 *DRY WEIGHT 148 kg *BODY COLORING BUSH BLACK IMPRESS HARDON
 ¥479,000



SRV250
 *MODEL TYPE 4-VALVE ENGINE 110-cc AIR-COOLED OHV V-TWIN
 *DISPLACEMENT 1100 cc *MAX. POWER 27.0 kW (36.8 HP)
 *MAX. TORQUE 23.0 Nm (16.8 kg-m) *TRANSMISSION 5 SPEED RETURN
 *DRY WEIGHT 148 kg *BODY COLORING BUSH BLACK IMPRESS HARDON
 ¥449,000

YAMAHA

SRV250S 二輪専門誌広告

SEROW225W 二輪専門誌広告



NEW **SEROW225W**
 *MODEL TYPE 4-VALVE ENGINE 225-cc AIR-COOLED OHV SINGLE
 *DISPLACEMENT 2250 cc *MAX. POWER 30.0 kW (40.8 HP)
 *MAX. TORQUE 20.0 Nm (14.7 kg-m) *TRANSMISSION 5 SPEED DRY
 *DRY WEIGHT 165 kg *BODY COLORING PURPLE WHITE SOULT *WITH ELECTRIC STARTER
 ¥369,000

星は、夜のコンパスだ。

大

人の感性で操る2台
 『SRV250S』と『SEROW225W』の、二輪専門
 誌広告です。

O

NとOFF。ステー
 ジの違いはあっても、どちらも感性に
 応えるための
 装備を満載して生まれ変わりました。

S

RVはその質感を象徴
 するツートンに塗り分けられたタンクを、セロー
 は満天の星を切り口に大自然との共生を、それぞ
 れにアピール。モーターサイクルのもうひとつの
 楽しみ方を、お客さまにご案内します。

W225

SEROW225Wの主な特徴

■別体サブタンク付リアサスペンション

新たにサブタンク付リアサスペンションを採用し、悪路走破性の向上を図りました。常に安定したダンパー効果を発揮します。

■リアディスクブレーキ

リアにディスクブレーキを設定しました。耐摩耗性・効力・コントロール性等に優れた焼結パッドを採用しています。

■60W/55W大容量・小型ヘッドライト

薄型レンズ採用でコンパクト化を図った大容量60W/55Wヘッドライトを装備しました。大容量ながらも小型設計により、ハンドリングへの影響を最小限におさえた点が特徴です。

■アルミ製アンダーブラケット

ステアリングのアンダーブラケットは、スチール製からパフ仕上げのアルミ製に変更。軽快なハンドリングを実現しています。

■アルミ製プロテクター

フートレスト部のフレーム外側にアルミ製プロテクターを追加設定しました。

■その他の変更点(SEROW225との共通変更点)

①スライドメタルの材質変更によるフロントサスペンションの作動性向上、②セミメタルパッドの材質見直しによるフロントブレーキの制動力向上、③ステアリング軸受け(上側)にアンギュラーベアリングの採用(従来はボールレースベアリング)、及びダブルナット締付方式採用によるステアリング性能の向上、④シフトタッチの向上、等を施しています。

SEROW225W

※「SEROW225W」の「W」は、①「SEROW World」の「W」、②原始的な森林地帯という意味の「Wilderness」の「W」、③SEROWの走りの世界を主張する「Woods riding」の「W」、④今回の商品性向上による走りの幅の広がりという意味する「Wide」の「W」等の総合的な意味を示しています。

パーブリッシュホワイトソリッド/ティープバイオレットソリッド



パーブリッシュホワイトソリッド/
ビブドパーブリッシュレッドソリッド



パーブリッシュホワイトソリッド/
フォレストグリーン

6月11日
新発売

新たな進化 ヤマハマウンテントレール

new SEROW 225W '93 SERO

メーカー希望小売価格 ¥369,000 SEROW225W ¥349,000 SEROW225

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラー:「SEROW225W」パーブリッシュホワイトソリッド1/ビビッドパーブリッシュレッドソリッド1、パーブリッシュホワイトソリッド1/フォレストグリーン、パーブリッシュホワイトソリッド1/ディープバイオレットソリッド1
「SEROW225」パーブリッシュホワイトソリッド1/フォレストグリーン

大自然と人との調和をキーワードに、今までにない二輪カテゴリーを確立した「セロー」が、さらに機能的に生まれ変わりました。

'93モデルの「SEROW225W」は、現行セローをベースに、足回りの強化、制動力の向上などを図ったモデルで、さらに一步深く大自然のふところへと分け入るための機能を満載しています。

また、リヤドラムブレーキ装着の現行モデルも細部にわたる改良を施し、'93モデルとして併売いたします。

SPECIFICATIONS ()内はSEROW225

- 全長2070mm ●全幅800mm ●全高1160mm ●シート高810mm ●軸間距離1350mm ●最低地上高285mm ●乾燥重量106kg ●エンジン4サイクル・空冷・OHC・2バルブ・単気筒・223cc ●内径×行程70.0mm×58.0mm ●圧縮比9.5:1 ●最高出力20ps/8,000rpm ●最大トルク1.9kg-m/7,000rpm ●始動方式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●オイル容量1.3ℓ ●燃料タンク容量8.8ℓ ●キャブレター型式BST34×1 ●点火方式C.D.I. ●クラッチ形式湿式多板
- 変速機形式常時噛合式前進6段 ●タイヤサイズ(前)2.75-21 -4PR(後)120/80-18 62P
- ブレーキ(前)油圧式シングルディスク(後)油圧式シングル ディスク(ドラム)

SEROW225



パーブリッシュホワイトソリッド1/フォレストグリーン



6月18日
発売



アクティブニューカラー追加

SUPER JOG-Z

メーカー希望小売価格 ¥159,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

走りの良さとヤングのライフスタイルにマッチする大胆なグラフィックで好評を集める『スーパージョグZ』に、さらなる走りのマインドをプラスしたニューカラー「ブラックマノディープバイオレットソリッド1」が加わりました。

**元気印スクーターにピッタリ!
リメイクした優れもの2種**

スクーター用ヘルメットの定番として人気を博す「ギャルソン」と「セシルミニオン」がよりオシャレに、機能的にリフレッシュしました。両機種ともニューカラーをラインナップするとともに、ギャルソンはヤマハスクーター『JOG』にピッタリの新エンブレムを、セシルミニオンは強度を増したポリカーボネイト製シールドを採用するとともに、『ジョグポシェ』にベストマッチの新グラフィックとしています。

ヤマハヘルメット

CECIL ミニオン

セシル (SL-8F)

¥9,300

サイズ：フリー 規格：JIS-A種 素材：ABS樹脂
カラー：ホワイト、ブラック、ダークブルー、ダークグリーン、
ダークレッド



ヤマハヘルメット

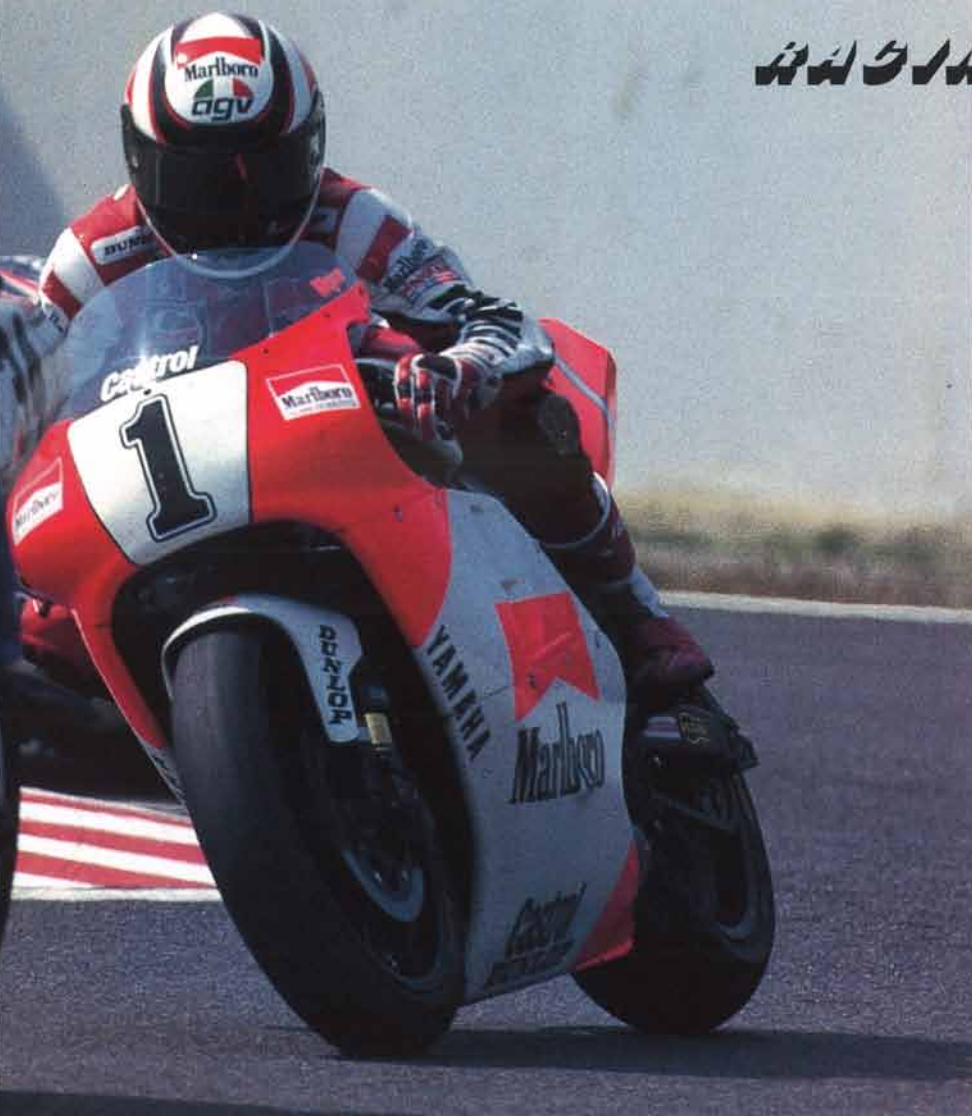
Garson

ギャルソン (SL-10D)

¥6,800

サイズ：フリー 規格：JIS-A種 素材：ABS樹脂
カラー：ホワイト、ブラック、ダークブルー、ガンメタ、パー
プル





日本GP



参加台数が増えたGP1クラス。YZR500のほか、YZRのエンジンを積んだハリス、ROCのマシンも大学エントリーし、GP1クラスを盛り上げている

W・レイニー史上初の4連覇への挑戦、原田哲也をはじめとする日本人ライダーの活躍など、開幕から大きな盛り上がりを見せる世界選手権ロードレースシリーズ。オーストラリアGP、マレーシアGPと消化し、今年第3戦目となった日本GPは、今シーズンの混戦を予感させる激しいレースとなった。

オープニングレースとなったGP2から早くも息づまるレースが展開される。1、2戦とトップ争いを演じた原田がここでもレースを引っぱり、ストレートで勝るカピロッシ、岡田をコーナーで抜き返す原田のファイトが続く。そしてラストラップ、原田のチャージにトップを行くカピロッシが転倒。これを間一髪でよけた原田が岡田を抑え切ったの優勝。観客は大いに沸いた。

その興奮も冷めぬうちにスタートが切られたGP1クラスは、GP2クラス以上のトップ争いが4台によって繰りひろげられた。ヘアピン、シケインと世界最高峰の名にふさわしいバトルが展開。このレースの勝者はレイニー。予選、決勝ともタイムで上回っていたシュワンツを抑えての勝利は、ヨーロッパラウンドに向けての大きなはずみとなるであろう。

そしてこのシリーズで忘れてはならないのが、GP1クラスの盛況ぶりだ。数年前その存続さえ危ぶまれたと噂されるほどの参加台数だった同クラスだが、この日本GPでのエントリーは36台。昨シーズンから増え始めたこの変化は、YZRのエンジンをコンストラクターに供給するという形で、レース界全体の普及活動を続けるヤマハの成果といえよう。

レイニー、原田ともに好調なすべり出しを見せているが、シリーズはまだ序盤。チャンピオンシップの行方はもちろん、レース界発展のために尽力するヤマハの活動も、今シーズンの大きな見どころといえる。

1993

世界選手権ロードレースシリーズ

1993 ROAD RACING WORLD CHAMPIONSHIP

予選2回目、終了直前で岡田からポールの座を取り戻した原田。決勝でもカピロッシを加えた3人のバトルを展開し、見事このレースを制した



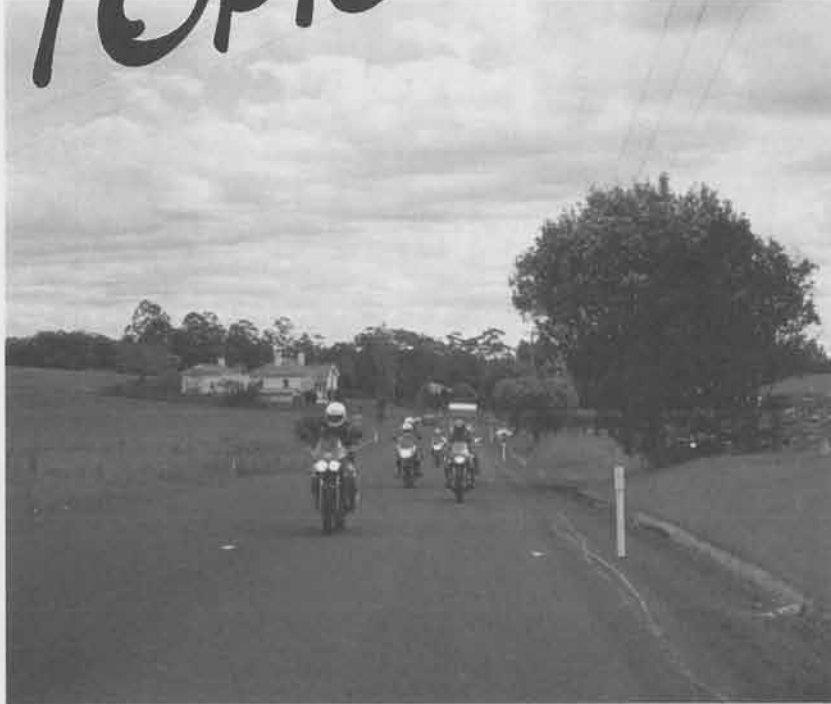
1周目8位と出遅れたレイニーは、2分10秒台で追撃。5周目には3番手に浮上しトップ争いに加わった。ラスト3周でトップを奪うとそのまま見事な逆転優勝を果たす



白熱!



TOPICS



新婚さんも3組参加して YES Sオーストラリアツーリング 今年もいよいよスタート

YES Sスタッフの夢をサポートするツーリングシステム「JAL/YES Sスーパーツーリングinオーストラリア」が、今年も元気にスタートしました。

4月11日の第1便では3組のハネムーンを含む10名が参加、広大なオーストラリアのツーリングを楽しみました。

このツアーの魅力は何と言っても、一般の観光旅行には組み込まれていないローカルな土地を、現地のライダー（インストラクター）の案内で走ること。今回のツーリングでもシドニーの北、約700キロに位置するコフス・ハーバーという町を訪

ね、現地豪日親善協会の好意によるパーベキューパーティーが開かれました。また、この模様は地元の新聞やラジオ、テレビなどにより取材、報道されています。

タンデムで参加した大阪の新婚さん、友實さん夫妻は、「二人の出発に一生忘れられない素晴らしい思い出ができました。できることならもう一度参加したいと思います」と話していました。

ツーリングのルートはシドニーを起点に、バシフィックハイウェイ沿いに北上するブリスベンまでの約1100キロ。海あり山ありの変化に富んだオーストラリアの大地を、参加者全員心ゆくまで満喫したようです。なお、このツアーは毎月1回出発しています。海外ツーリングを夢見るお客さまへ、ぜひご案内ください。

93盲導犬普及キャンペーンに 平忠彦さんが協力!! 体験歩行にもチャレンジ

ゴールデンウィークのまん中にあたる4月29日～5月3日、東京・晴海で行なわれた第20回東京国際見本市の会場で、財団法人盲導犬協会の主催による「93盲導犬普及キャンペーン」が開かれました。このキャンペーンにヤマハ発動機は特別協賛として名を連ね、広く盲導犬の普及活動に協力しました。

会場では各協賛会社から寄せられた協賛品のチャリティバザールやお



チャリティオークションに参加する平さん。売上げはすべて盲導犬の育成資金へ



約1000キロを走破した新婚カップルの友實さん夫妻。奥さんのまり子さんにとっては初めてのツーリングがオーストラリアになった。



最強の空冷400〃を証明！ XJRがネイキッドレースで 見事なデビューウイン

ヤマハならではのこだわりでファイティングスピリットを具現化したXJR400。その迫力あふれるスタイルと空冷マルチ最速をめざした走行性能が、大勢のファンから熱烈な支持を受けています。

特に、最新テクノロジーを投入して作り上げた自慢の空冷4気筒エンジンなど、走りのポテンシャルは注目度が高く、さっそくプロダクションレースにも登場。



5月2日、デビュー戦となったトランスエコー（筑波・ネイキッドクラス）では、750ccなども混走するなか3台のXJRが参加し、オーバレーシングの田尾選手が見事に逆転優勝！

さらに5月4日、同じく筑波での「デイス・オブ・フリーランス」ZERO-2クラスには6台がエントリーし、YSP八王子南（RSカタクラ）の佐藤選手がポール・トゥ・フィニッシュを飾りました。

あくまで公道での性能を重視したマシンながら、レースも十分に楽しめる力を証明したXJR。今後は、レース用のベースマシンとしてもいっそう人気を呼びそうです。

店頭を騒がすXJR！ 『ユーメディアMCショー』でも 3000人の視線をひとり占め

神奈川県には、国内有数の大規模二輪販売店が数多く集まっていますが、その中のひとつ、梅田モーターさんの茅ヶ崎店「ユーメディア」で、4月16日～18日、恒例の「ユーメディアモーターショー」が開かれました。

ちょうどゴールデンウィークを目前にしていたこともあり、集まったお客さまは延べ3000人以上。広い店内、店頭に並んだ展示車を見て回ったり、ヤマハライディングウェア発表会やオークション、バザーなど、さまざまなアトラクションで盛り上がりました。



Y.E.S.S.ギャルも協力して、ヤマハライディングウェア発表会やオークションなどステージイベントは大盛況

スポーツ市場拡大のために 神戸の販売店さんが協力して 合同ユーモデル試乗会を開催！！

「メーカーの枠を越えて、まず市内のライダーを増やそう」と、4月11日神戸市内の二輪車販売店さんのグループが合同試乗会を開催しました。

この催し、スポーツ市場の盛り上げのために年に2回開かれているもので、各社のニューモデルが顔を揃えることあつて毎回大盛況。お客さまにとっては目当てのモデルの比較試乗ができる少ないチャンスだけに、ダイレクトな販売にも結びついでい



協賛店のひとつ、YSP神戸東さんの木下社長は、XJRの評価の高さに満足顔

特に、ウワサのニューモデルXJR400店頭試乗会は大人気。3日間で120名以上のお客さまが、約



イベントのメインはやはりXJR試乗会。3台用意された試乗車は連日フル回転



この日の目玉はやはりXJR400。注目度もナンバー1

400の登場感をおおるのに最高のイベントになりました。ライバル車と比較することで、XJRの走りの良さがアピールできたと思います」とホクホク顔。思わぬ効果に満足そうなお客さまを浮かべていました。

5kmのコースでXJRライディングを体感しましたがなかにはその場で購入を決めた人もいるほどの好評ぶり。XJRの快走は、これからのいよいよ加速していきそうです。

TOPICS



YMBDの蓬莱社長(左)もインテルラゴスサーキットを訪れ、右京選手と一緒にプロモーションを行なった

JOGのブラジル導入記念に 『ティレル・ヤマハ』仕様が F1グランプリで登場!

ブラジルの現地法人YMBDでは、今年6月よりヤマハスクーター「JOG」を新発売しましたが、それに先立つ3月28日、F1ブラジルGPで『ティレル・ヤマハ』カラーのJOGをデビューさせ、大きな注目を集めました。

なにしろブラジルは、3度の世界チャンピオンに輝くE・フィッティパルディやA・セナ、M・グージェルミンなど数多くのF1ドライバー

を輩出し、F1がサッカーと並んで国民的人気を誇るお国柄。

片山右京選手の協力を得て行なった発表プロモーションや、マスコミ関係者の移動用に貸し出したこともあって、テレビや雑誌、新聞で紹介されるなど大好評でした。

この特別バージョンは、2000台が限定発売され、あつという間に完売。上々のスタートを切ったようです。

ヤマハフットボールクラブ 正式名称が決定! 『ジュビロ磐田』をよろしく

今年、日本のサッカー界はワールドカップ予選や「Jリーグ」開幕など大きな話題に沸いていますが、ヤマハFCも日本代表に吉田光範、中山雅史の2選手を送り込み、また、チーム自身、94年からのJリーグ参加に向けて着々と準備を進行中です。

例えば、ホームグラウンドを1万5000人収容のスタンドと照明施設付きに改装中で、ヤマハ磐田サッカー場と改称。さらに、メンバー補強やイタリア遠征で戦力アップをはかり、「J1(日本フットボールリーグ1部)」開幕に虎視眈々。

そして、このたび正式チーム名も

決定しました。

『ヤマハFC・ジュビロ磐田』。ジュビロとは、ポルトガル語・スペイン語で歓喜を意味することばです。

ロゴマーク、キャラクターマークはまだ未定ですが、近いうちに新聞や雑誌等でお目見えする予定です。

なお、チーム名公募に対し、2万1821件のアイデアが寄せられましたが、惜しくも採用には至らず、優秀作品5点、5名の方に賞金5万円が贈られ、残り75万円は磐田市へ寄付されました。

喜びの勝利をもたらすチームジュビロ磐田の活躍が、今から楽しみです。

ビギナー必携の本 人気のレーシングカートを 1から10まで完全解説!

F1を頂点とする四輪モータースポーツのなかで、最も手軽に参加できるカテゴリーとして年々競技人口を増やしているのがレーシングカートです。

しかし、レースのルールやライセンス取得方法、マシンの種類など、細かな知識はそれほど広く知られていません。

そこで、カートレースを始めようとする時、頼りになるのがこの『レーシングカート』というそのものズバリの名称を冠した本です。

国内唯一のカート専門誌として、現役カーターから絶大な支持を受けている雑誌『ジャパンカート』誌の編集により、内容の確かさ、密度の濃さは折り紙つき。

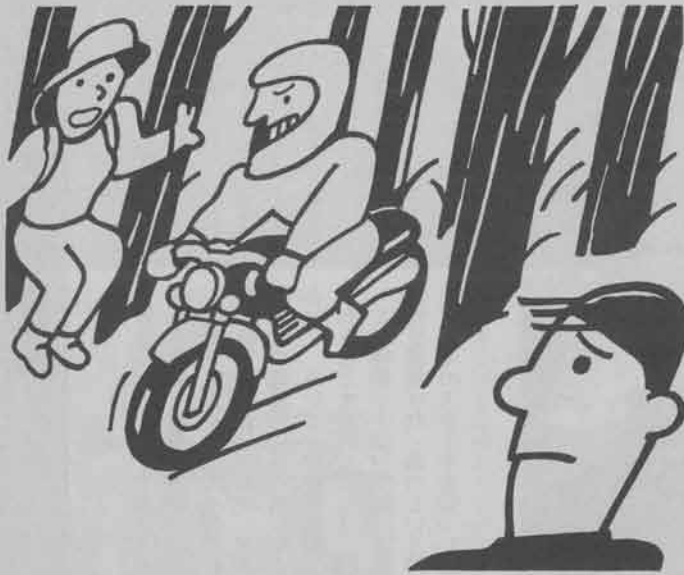
単なる入門書にとどまらず、カートドライバーとなつてからも大いに役立つ知識、情報が網羅されています。交通タイムス社・刊 2000円



昨年、無敵で制したJリーグが今年も5月30日に開幕。Jリーグ入りには2位以上が条件となる



TOPICS



お客さまとお店の 交流記

ゴールデンウィーク ……の巻

4月29日 普段は減多に買うことのない月刊ガールを、TT250Rのテスト記事に約られて購入した。ライバル車とのテスト比較の内容が載っていたが、やはりその性能はスバ抜けているらしい。XJR然り、TT然り、今年のヤマハは元気があつた。

4月30日 ゴールデンウィークの谷間もし晴れたらいつもの林道に出かけてみるつもりでいたのに、朝からグスツ

いた雨が降っている。悩んだ末、仕方なく(なんて言ったら上司に怒られるが)会社へ行った。

5月1日 いつものバイクショップに顔を出したら、社長を囲んでツーリング談義に花が咲いていた。聞けば同業者の人たちと石和温泉にツーリングに行ってきたのだという。しかも社長のSR500ではなく、XJR400で行ってきたのだ。ここぞの社長はまだまだ現役でYESSENデュロに出ているし、このようにツーリングもする。売人というより乗る人というイメージだ。社長を慕って(奥さんを慕ってという僕のような客もいるが)たくさんライダーが集まるのも、店主と客の距離が極端に近く、ライダー同士のラフな会話ができるからに違いない。

5月4日 千葉の実家に帰省したその足で、都下の林道へセローを走らせた。五日市街道はさすがに連休中であつてクルマ、クルマでゴツタ返し、林道入口あたりも家族連れで賑わっている。ここまで来て……という気もしたが、ファミリーハイカーの間を縫って走るのも気がひけるので歩くことにした。こういうのもたまにはいいものだ。

しかし、ハイカー気分が林道を歩いてみると、ライダーのマナーの悪さは目にあまるものがある。これでは嫌われてもあたり前だ。まず自分の行動から改めていこうと決心する。

5月10日 義理の兄がアルティシアを買ったので、夏になったらツーリングに行こうと電話をかけてきた。そう言えば兄と二人きりで出かけたことなどかつて一度だつてないことだ。男二人でゆっくり話してみるのも悪くはない。ふたつ返事でOKした。

『ホイットブレッド』初制覇へ 満を持したファイナルウェポン 新『YAMAHA』号進水!

究極の外洋ヨットレース「ホイットブレッド世界一周レース」第6回大会に参加する「ヤマハ・ラウンド・ザ・ワールド」シンジケートでは、4月22日、ニュージーランドのオークランド市で新「YAMAHA」号の進水式を行いました。

この艇は、W60クラス規格に合せて設計しており、マキシクラスと呼ばれる従来の艇よりひと回り小さく(全長20m)、両舷にウォーターバラスト機構を備えているのが特徴。性能的には安定性、強度、スピードともマキシに劣らぬポテンシャルを秘めています。

しかも、同レース初の2ポートキヤンペーン(テスト用、本番用の2艇を用意する方法)により、昨年4月に進水した1号艇の一万マイルに及ぶ帆走データと最新の建造技術を

フルに投入。より扱いやすく洗練された艇に仕上がっています。

数多くの観衆が見守るなか、晴れやかな進水式を終えた新「YAMAHA」号は、4月24日、オークランドの福岡・ヤマハ杯レース「スター」の伴走を務めました。

本番「ホイットブレッド」のスタートは、今年9月25日、イギリス・サザンブトンです。



イギリス・サザンブトンツアーにご招待!

「ヤマハ・ラウンド・ザ・ワールド・クイズ」

【問題】

「ホイットブレッド世界一周ヨットレース」に日本から挑戦するのは「〇〇〇・ラウンド・ザ・ワールド」号。〇〇〇の中に正しいと思われるカタカナ3文字を記入してください。

【賞品】

A賞：「YAMAHA」号応援イギリス・サザンブトンツアーご招待(5組10名)

B賞：ヤマハ・オリジナルダイバーズウォッチ(50名)

C賞：「ヤマハ・ラウンド・ザ・ワールド」オリジナルテレカ(200名)

【応募方法】

官製ハガキに、住所、氏名、年齢、職業(学校名)、電話番号、保護者(申込者が未成年の場合)の氏名・年齢・職業、そしてクイズの答えを明記し、下記まで郵送ください。

【応募先】

〒104 東京都中央区銀座2-16-7恒産第1ビル
「ヤマハ・ラウンド・ザ・ワールド・クイズ事務局」 懸賞係

【締切】

平成5年6月30日(当日消印有効)

【問合せ】

その他詳しくは、上記事務局(☎03-3248-0343)までおたずねください。

●一般向けのオープンな懸賞クイズです。ぜひお客さまにもご案内ください。

永井康友、逆転優勝 125は加藤義昌が 独走で2勝目



第1戦に比べ、エンジンのパワーが上がってきているというTZ125。大量リードを得てからは、「いかに負担をかけない走りにするかを考えた」と加藤



500ccクラスでは2位のマギーに続き、藤原が3位に入賞した。苦手意識のあるSUGOで欠々の表彰台に登った

毎レースとも上位陣が激しい接触を展開している今年のTTT1クラス。4月25日に行なわれた第3戦もレース序盤からめまぐるしくトップが入れかわる白熱した内容となっ

た。ヤマハのエース、永井康友は第2戦が3位。ポイントテーブルでは遅れをとってはいるが、スタートの遅れを取り戻してトップ争いを見せた

開幕戦など、ここまでの内容は決して悪くはない。この第3戦でもスタートでやや出遅れたものの、序盤で先行する柳川、北川、青木を捕え、トップ争いに加わった。その後、青木北川が脱落し、後半は永井と柳川の一騎打ちとなった。幾度か先行を許すが、ストレートで余裕があったという永井はあわてることなく追走。ラスト6周でトップに立った。ラスト3周柳川が転倒リタイアとなり、永井が3戦目にして今季初優勝を飾った。

「エンジンが良かったので、ついでいけばなんとかなると思った。エンジニアの人達に感謝したい」と、YZFの仕上りの良さを強調した。また永井とともにF1にエントリーしている吉川和多留がYZF750SPベースのマシンで出場。ワークスマシンを相手に堂々の3位入賞を果たし、A級昇格3年目にして初の表彰台に立った。

もうひとつの注目の的、第1戦でデビューウィンを飾ったTZ125と加藤義昌は、このレースでも大活躍。「これからは走ってないコースだから、第1戦のようにはいかないですよ」とひかえめだったが、予選は2番手。決勝では序盤にトップに立ち独走という第1戦と同じパターンで2勝目を挙げた。後続を1周で1秒ずつ離すという圧勝だった。

第2戦を欠場しているの、2戦2勝。ラッキーでした」とコメントする加藤だが、今後のレースも期待せずにはられない。



今季初優勝と初の表彰台。お互いの健闘を称える永井(左)と吉川。仲の良いF1コンビの鈴鹿200km、そして8耐での活躍が今から楽しみ



「レース前に写真撮ろうよ。帽子かぶって。これ、YESSのサインだろ」クトゥリエから言い出した記念写真。リラックスした雰囲気、自らの好調をアピールしているようだった。右は加藤監督、左はヘルパーの河合さん

基本には忠実でありながら、クトゥリエのトライは迫力あるものだ



これでポイントランキングも急上昇した。第4戦終了時点では、トップのアルバーチンとの差は62と大きく開いていたが、この2戦でその差を14まで詰めた。シリーズは後半戦に入り、いよいよ本命のシュミットが本領を発揮しはじめそうだが、なお第6戦では、川崎智之がヒート2―26位、ヒート3―24位で完走を果たした。

4月25日、雨のための2ヒート制となったフランスGPで両ヒートとも2位に入り総合優勝を獲得。そして5月9日の第6戦・ハンガリーGPでは、コースにまかれた水による路面の状況を適確に判断し、ドライとなってからペースを上げるといふ冷静な走りヒート1を制した。続くヒート2はホールショットからの独走、ヒート3も自分のペースを守り切ったの優勝を飾り、本人にとつて3度目の完全優勝を果たした。

第3戦・オランダGPを総合9位、続くスイスGPは6位と、本来の調子が出せぬ苦しいレースが続いたD・シュミット。しかしそのスイスGP第3ヒートで2位に入賞してから昨シーズンの圧倒的な強さを思わせる快進撃が始まった。

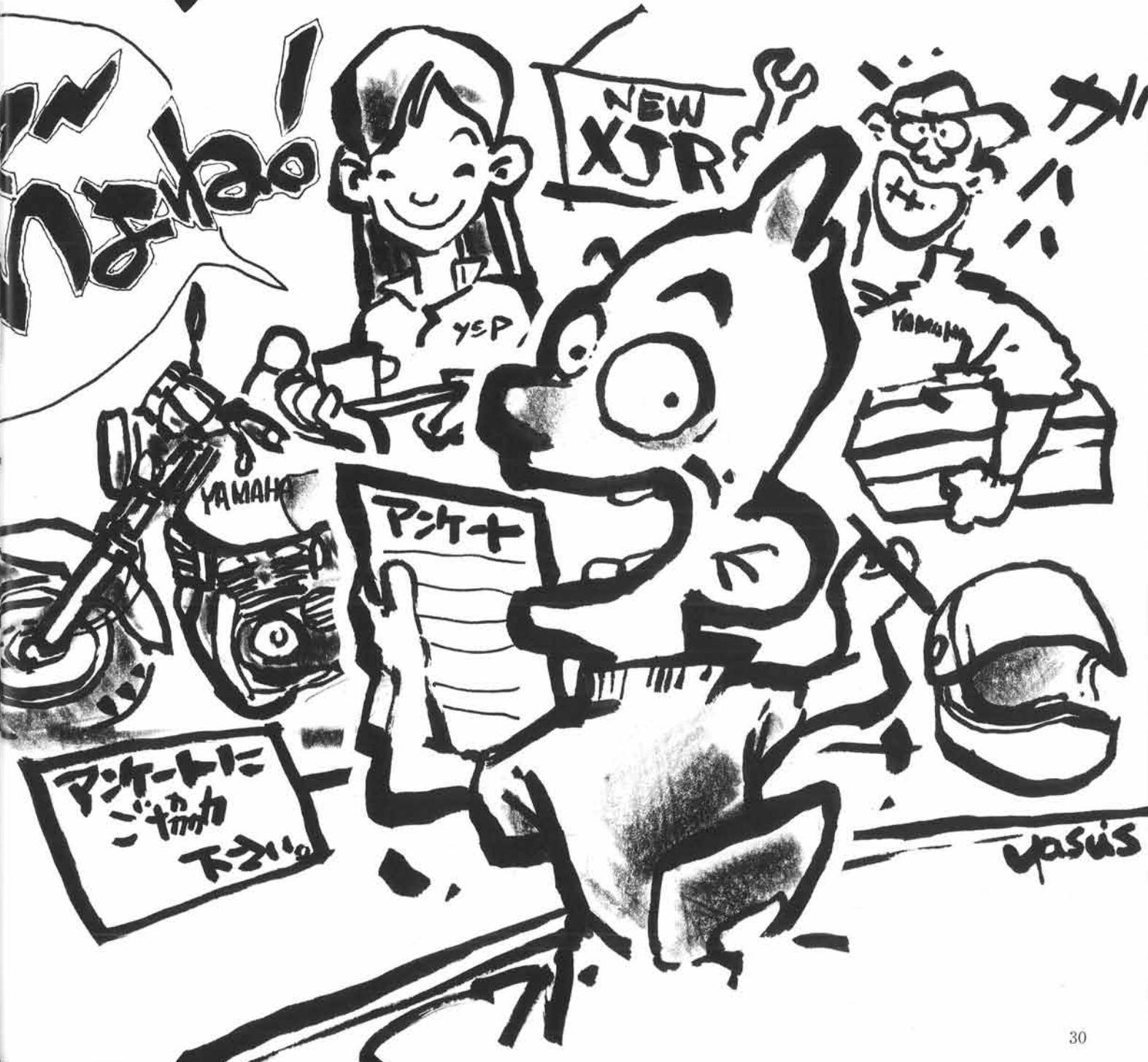
世界選手権モトクロスシリーズ
全開！D・シュミット3ヒート制覇
ポイントランクも急上昇



WORLD
MX

今後のドイツ、イギリス、アイルランドの大会は、昨シーズンも良い成績を収めており、ポイントトップを奪うチャンスとなるだろう

XJR試乗会で体験 アンケート用紙にこめられた シヨツフのアイデアに二重丸!



初、オフロードで 体感する世界

TT250R、DT200WR、そしてセロー225Wと、それぞれ異なる魅力のニューモデルがラインナップされ、同時に普及活動も盛り上がるオフロード市場。「乗れば分かる」オフロードランの面白さ。ターゲットは新規参入層だ!!





初体験者の共通意見 「こんなに面白いとはー!」

今日のために買い揃えたというオフロードギヤが、YRS開始後10分足らずで真っ黒になっていた。「キズをつけないように」と大切に使用していたヘルメットも講習が終わった頃には細かいキズが無数についていた。浅井千賀さん、21歳の初オフロードは、本人のイメージとはずいぶんギャップがあったようだ。

DT200WRに乗るボーイフレンドのすすめで、2週間前にセロー225を購入した浅井さん。ふたりで林道ツーリングを楽しむ前に正しいオフロード走行を身につけておこうと、この日オフロードフェスタの会場にやってきた。ミニYRSに参加したのはそのためだ。

「こんなに難かしいとは思わなかったし、こんなに面白いとも思いませんでした」とは、ヘルメットをぬいだ後のファーストインプレッション。「でも本当に楽しかったですよ」と汗びっしょりの顔をぬぐいながら話してくれた。

Zealに乗る神林憲一さんの「初オフロード」は、まさに七転八倒という言葉がぴたりだった。開始直後にスラロ

ームで転倒し、丸太越えではスロットルを開けすぎてコース外でコロリ、手首とスネに名譽の負傷(?)まで負った。

しかし本人はケロッとした様子で「僕は(オフロードには)向かないみたいですね」と笑っている。面白くて仕方ない、もっと走りたいという様子がアリアリだ。「走りながら頭の中でZeal売ったらいくらくらいになるだろう」なんて考えちゃいましたよ。それくらいオフロードのバイクが欲しくなった。ただの食わず嫌いだっただのを痛感しました」と、新たな発見に胸を躍らせていた。

たった一日のスクールで 5人のオフファンが誕生

5月16日、千葉県のアスキアアウトドラスペースで開かれたYESSオフロードフェスタ(ヤマハ東京・東京営業所主催)は、TT250Rの発売を記念したイベント。TT250Rをはじめ、セロー225、DT200WRの体感試乗会をメインイベントに、初心者のためのミニYRS、ショップ対抗のレースなどが開かれた。

前出のふたりのコメントでも分かる

おり、オフロードの未経験者は、たとえ潜在的にチャレンジしてみたいと考えていても二の足を踏んでいるケースが多い。当然こうしたイベントにも足を向けることが少ないわけだが、今回のイベントの場合は少し違うようだ。

「事前にまったくの未経験者も参加できるスクールをやると聞いてましたから、今日はそういうお客さんばかり誘ってきたんです」と話すのは、YSP習志野さんの鈴木直樹店長。その言葉どおり、XR400やSRV250といったオンロードモデルが駐車場にズラリと並んでいた。

大切なのはいかに乗るチャンスを与えるかということ。YSP習志野さんの場合、オフロードファン(すでに楽しみを体験しているお客さま)と一緒にせず、未経験者だけを集めてチャンスを設定したのが成功の秘訣かもしれない。なにしろたった一日で、5人ものオフロードファンをつくってしまったのだから……。

全国各地で盛り上がるオフロードスポーツの普及活動。ビジョンを持ってこうしたスクールを利用すれば、まだまだ底辺は拡がる要素を持っている。

盛り上がるオフロード普及活動 ターゲットは未経験者!?



目指すは遊びのプロショップ!

ショップカラーに“遊び”を選んだお店の
仕掛けからフォローまで

YSP徳島中央 一宮茂信社長

Hello

ナイスショップ

サービススペースは常連客に対し常にオープン。「私もレースをしていたから、彼らをサポートしてあげたい」と一宮社長



「ウチの店がどんな活動をしているかは、写真を見てもらったほうがよく分かるね」
 と言うなり、社長が持ってきた段ボール箱いっぱいの写真。バイクはもとよりマリッジットで遊ぶ姿、デイパックを背負ってキャンプ、そしてスキューバ……。取り出す写真のなんとバラエティに富んでいることか！
 ハローナイスショップ、今回「登場いただくのは徳島県徳島市に店を構える『YSP徳島中央』さんだ。一宮茂信社長は、続けて言う。声はずんである。

「ショップのカラーに『遊び』を選んだ理由は二つあるんだ。一つはすぐ近くの徳島大学の学生をなんとか引き込めないかと考えてね」
 徳島市は交通事情が悪い、といわれている。市街を迂回する大きなバイパスもなく、朝夕の通勤時間は慢性的な渋滞に見舞われる。地下鉄などはないから大学生は渋滞を覚悟してバスを利用するか、バイクが通学手段になる。「通学の手段として、スクーターは商売になるのは当然だった。でもね、それだけは切れやすい米みたいなものさ。でお客さんとのつながりを糸から、さらに強固なロープにするためには何か、「仕掛け」が必要だったんだよ」
 いまお店で「仕掛け」ている遊びを挙げてもらった。出てきたのはバイク関連では近くの阿讃サーキットや中山サーキットを利用しての走行会。店がコースを借りてのエンデューロ大会。オフロードライディングスクール。もちろんツーリング。スキーやキャンプ、

マリッジット……。
 「うちではバイク部門のほかにマリッジット専門ショップも出店しているんですがここからマリッジットを運んできて、試乗会などもするね。マリッジットはお客さんにも好評で、もう10人以上が4級船舶免許を取っている。マリッジットの販売にはなかなか結びつかないけど、お客さまとの心の結びつきは成果があがっているね」
 一宮社長に続いて山口店長も、「キャンプもただテントを張っておしまいというもんじゃない。モトクロツサーやマリッジット、ヨットのディンギーなんかも組み合わせるんです。プラスアルファ、さらにプラス、プラス。個人では体験しにくい遊びをウチが提供してあげることが大切だよ」
 ちなみにディンギーは山口店長の個人艇だ。「たしかに正直いって『遊び』に多額のお金をかけるのはしんどい。

だから当然、お金のかわりにアイデアを投資することが大切だと思っています。遊び上手というか、遊びの中から遊びのアイデアを、ね」



YSPから車で5分程の距離にあるマリッジットショップ。バイクユーザーにとっても遊びの情報発信基地となる



現時点は夕方になると
接客カウンターが
コミュニケーションスペースだが、
他のお客さまに迷惑のないよう、
2階にその場を設ける予定



リニューアルで常連客のくつろぎの場所を確保

お店が目指すのは遊びのプロショップ。その効果はどのようにあがっているのだろうか。
「まずあげられるのは、クチコミで店の名が広がっていくことだね。とくに

大学生同士はクチコミの情報が大きな情報源になっている。『あの店は面白い』という話が伝われば、集客は飛躍的にアップしますよ」

お店の名が広まり、来店してもらう。そして、遊びの輪に引き込んで毎日でも店に来てもらえればいい、と一宮社長は補足する。移り気な大学生を引き止めるには、毎日お店に足を運ばせる

2階への車両移動は大型リフトで。簡単な作業は1階のスペースで行なう



ことが肝心だというのだ。

YSP徳島中央ではこの3月からリニューアルに着手した。もともと倉庫ビルとして建てられた現在のビルは築25年という古さ。お店のイメージ一新というほかに、このリニューアルには別の狙いもあった。

「いままでは1階部分にショールームも、サービススペースも、商談スペースもすべてがあっただんです。どのコーナーもこれでは手狭で機能を発揮できない。いや、それ以上に考えたのは常連客の居場所なんです」

常連客は大切な中心顧客。もちろんオビニオンリーダー的存在でもある。新規のお客さまにとってはお店に入りにくい壁にもなりがち。常連が集まれば、しかも新規のお客さまとバッティングしないようなスペースを……一宮社長が考えたのがお店を縦に2分割する2階案だったのだ。

「リニューアルで、店は1階にショールームと商談スペースを、2階にはサービススペースと常連のくつろぎフロアを設けた。これでサービスもしっかり行なえるようになったし、常連も心おきなく集まれるようになりました」



ショールームのディスプレイの相談役は矢的担当セールス（左・徳島営業所）。「常に色々なアイデアを提供してくれるんです」と、山口店長の信頼は大きい

遊びでお客さまの心に求心力を植えつけたら、その引力が持続するようにお店の作りも考える。イベントの発信だけでなく、『そのあと』のフォローも大切と一宮社長は考えているのだ。
「バイクを購入してくださったお客さんに対してヨットのマリナーのようにお客さまのバイクを預かれないかと考えてもいます。アパート住まいではなかなかバイクを置く場所が少ない。ならばウチで預かれないか、と。これも『そのあと』のフォローの一つです」

リニューアルでお店が広がった。社長の構想も大きく広がっている最中である。ところでショップのカラーに遊びを選んだもう一つの理由っていったい何ですか？
「それは当然、私も一緒に遊びたいからさ、ハハハハ。自分が楽しくなくちゃお客さまを楽しませることはできないからね」



制約が多くなる中央の柱を、ガラス張りにすることによって上手に利用。アイデアが光る



YSP徳島中央

徳島市街、徳島駅から約10分の住宅/商業地区に立地する。市街中心へ向かうバス道路に面し、バス停は店舗前に置かれている。昭和62年4月にはバイクショップに続いてマリッジ専用店「YSP徳島中央マリッジショップ」を国道11号線・吉野川大橋近くにオープンさせている。

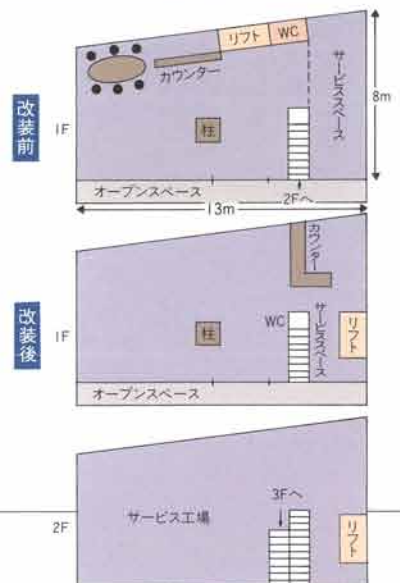
- オープン：昭和60年2月（今年3月にリニューアルに着手、5月完工）
- 店舗規模：1階ショールームスペースのうち25坪をショールームと商談スペースに、残る8坪をサービススペース。2階はサービス専用スペースとして33坪。3階は住居スペースに充てる
- 商圈：徳島市はもとより北島町や鳴門市も含めて半径およそ10キロ
- 展示台数：1階ショールーム内にスポーツバイクを13台、店舗前オープンスペースにスクータ11台を展示
- 客層：大学生を中心に、35歳までのサラリーマン層
- クラブ：オン・オフツーリングと幅広い活動を行なう「チームファミリー」
- 営業時間：午前10時～午後8時
- 定休日：毎週日曜日



ウィンド側にはXJR。店内だけでなく、外からも見やすい展示を心掛けている



限られたスペースではあるが、アピールしたい部分には充分なスペースを割く



ここにもヤマハ

We Love Yamaha



※'92 Y.E.S.S.アースリーラン in 信州より

'93 Y.E.S.S. アースリーラン日程

Y.E.S.S.アースリーランin津南

開催日程：8月7日④～8日⑤
会場：グリーンピア津南
(新潟県中魚沼郡)
参加定員：限定700名

Y.E.S.S.アースリーランin青木湖

開催日程：8月7日④～8日⑤
会場：青木湖湖畔
(長野県大町市)
参加定員：限定300名

Y.E.S.S.アースリーランin神鍋

開催日程：7月17日④～18日⑤
会場：神鍋高原(兵庫県城崎郡日高町)
※エンデューロレースは万場高原
参加定員：限定800名

10人いれば
10通りのアースリーラン
たくさんの笑顔に
出合える日

今年で3年目を迎える「Y.E.S.S.アースリーラン」は、あらゆるタイプのライダーが集まる年に一度のお祭りイベント。クラブの仲間が入場ゲートをくぐるグループや、カップル、家族づれ、そしてソロで元気に走ってくるライダーまで、本当にさまざまなスタイルのバイクライフに出会うことができる。

キャンプ場の隅で仲良くテントを張っていたのは、駒ヶ根市からDT125でやってきた小原夫妻(①)。まだまだ新婚ムードいっぱいのカップルだった。信州との別れを惜しむように諏訪湖をバックに記念撮影。これはツーリングクラブYBFのみなさん(②)。神戸の河西さんと守山さん(③)は7時間かけて走ってきたという。さらに東京のY.E.S.S.ショップ、アライオートさん(④)は6家族の大所帯で駆けつけた。

10人いれば、10通りのアースリーランがそこにある。さあ！今年もまた、素敵な笑顔が集まろう！！'93 Y.E.S.S.アースリーランは3会場だ。

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社